

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公開番号】特開 2000-281012 (P2000-281012A)

【公開日】平成 12 年 10 月 10 日 (2000.10.10)

【出願番号】特願 2000-30234 (P2000-30234)

【国際特許分類】

B 6 5 B 13/22 (2006.01)

F 1 5 B 15/18 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 13/22 A

F 1 5 B 15/18

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 27 日 (2006.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 エアーモータ用ハウジングと、

前記ハウジングに対し回転可能に連結されたカラーとを具備し、前記カラーが、アクチュエータ表面を画定する内側部分を有し、更に

前記ハウジング内に少なくとも部分的に配置されたエアーバルブを具備し、前記エアーバルブが前記エアーバルブを開閉するアクチュエータ部分を有し、前記アクチュエータ部分が、前記ハウジングから突出して前記カラーのアクチュエータ表面と係合するために付勢され、

前記エアーバルブが開放される第一位置と、前記エアーバルブが閉鎖される第二位置との間で、前記カラーが前記ハウジングに対し回転可能であり、更に

前記ハウジングと係合する第一部分と前記カラーと係合する第二部分とを備えたカラー付勢部材を具備し、前記カラー付勢部材は、前記エアーバルブが閉鎖される第二位置まで前記カラーを付勢し、

前記カラーが、前記エアーバルブを開放するために前記カラー付勢部材の付勢力に抗して前記第一位置まで回転可能である、ストラップテンション工具。

【請求項 2】 前記ハウジング内に部分的に形成された付勢部材凹部を更に具備し、前記付勢部材凹部内にはハウジング係合表面が形成され、前記付勢部材凹部が前記カラー内に部分的に形成され、前記付勢部材凹部内にはカラー係合表面が形成され、前記カラー付勢部材が前記付勢部材凹部に配置され、前記カラー付勢部材の第一部分が前記ハウジング係合表面と係合し、前記カラー付勢部材の第二部分が前記カラー係合表面と係合する、請求項 1 に記載の工具。

【請求項 3】 前記カラー付勢部材が第一端部と対向第二端部とを備えた圧縮コイルばねであり、前記圧縮コイルばねの第一端部が前記ハウジング係合表面と係合し、前記圧縮コイルばねの第二端部が前記カラー係合表面と係合する、請求項 2 に記載の工具。

【請求項 4】 前記付勢部材凹部のハウジング係合表面がそこから突出しているピンを有し、前記圧縮コイルばねの第一端部が前記ピンのまわりに配置される、請求項 3 に記載の工具。

【請求項 5】 前記ハウジング係合表面と前記カラー係合表面とが、それらの間に前記カラー付勢部材を圧縮して拘束するために、前記ハウジングに対しほぼ半径方向に延び

て配置されている、請求項 2 に記載の工具。

【請求項 6】 前記カラー付勢部材が第一端部と対向第二端部とを備えた弾性材料であり、前記弾性材料の第一端部が前記ハウジング係合表面と係合し、前記弾性材料の第二端部が前記カラー係合表面と係合する、請求項 2 に記載の工具。

【請求項 7】 前記カラーのアクチュエータ表面がテーパ部を備えたカラー凹部を有し、前記エアーバルブを開放するために前記カラーが前記第一位置まで回転される時に前記エアーバルブのアクチュエータ部分が付勢されて前記カラー凹部内に突出し、前記エアーバルブを閉鎖するために前記カラーが前記第二位置まで回転される時に前記アクチュエータ表面のテーパ部が前記エアーバルブのアクチュエータ部分と係合可能である、請求項 1 に記載の工具。

【請求項 8】 前記エアーバルブのアクチュエータ部分が前記エアーバルブのバルブシステム上に配置され、前記バルブシステムは、前記エアーバルブのアクチュエータ部分が前記ハウジングから突出するようにスプリング部材により付勢される、請求項 1 に記載の工具。